



令和4年度 ひょうご若者被災地応援プロジェクト

ひょうごボランティアプラザが、令和4年度「ふるさとひょうご寄附金」を活用した「ひょうご若者被災地応援プロジェクト」で、県内の大学・高等学校・専門学校等に通う学生など8団体・グループが東日本大震災や豪雨災害などの被災地復興を支援しました。

団体・グループ	現地活動期間	活動人数	活動地		活動内容
			区分	市町村名	
1 特定非営利活動法人 Future&Hope	4/1~4/5	13名	熊本地震	阿蘇郡高森町、人吉市、熊本市	熊本豪雨災害の被災地を訪問し、子どもたちや家族連れを対象にお祭りを開催、子どもや地域の人たちの心と体の癒しと元気づくりを目的に被災地の復興支援を行う。
2 被災地に学ぶ会	5/28~5/29	7名	令和元年台風19号 令和4年福島沖地震	宮城県伊具郡丸森町	オンラインサロン等の支援活動を続けている丸森町を訪問し、戸別訪問やサロン会を実施して住民との交流を図る。2022年3月16日の福島県沖地震において被害を受けた家屋も多々あり、その片づけを手伝い、被災された方々の支援活動を行う。
3 神戸学院大学防災聞き書き隊	8/4~8/7	14名	東日本大震災 平成28年台風10号	岩手県釜石市、大槌町、岩泉町	岩手県大槌町、岩手県岩泉町を訪問し、避難情報を始めとする災害情報の重要性を学ぶとともにその復興状況を調査研究する。活動終了後にその調査結果をまとめて、2023年1月開催の災害メモリアルアクションにて発表を行う。
4 関西福祉大学ウォルターテ	8/8~8/10	16名	平成30年7月豪雨災害	岡山県倉敷市真備町	岡山県真備町を訪問、高齢者施設や児童館でリクリエーションを通してお年寄りや子どもたちと交流、また、真備町の観光マップとPR動画を作成して地域の活性化に役立ててもらう。
5 若者災害ボランティア事業 宮城チーム	8/8~8/9	6名	東日本大震災	宮城県仙台市、名取市	2021年に4回にわたりオンラインで交流した関上中央町内会の方々と交流会を行うことでコミュニティ活性化の支援を行う。また、名取市震災復興伝承館やせんたい3.11メモリアル交流館などの震災遺構を訪れ、語り部の方からも震災当時の話を伺う。
6 被災支援団体「おたがいさまプロジェクト」	1. 真備町 令和4年10/22 2. 小布施町 令和5年1/27~1/29	1. 真備町 6名 2. 小布施町 5名	1. 平成30年7月豪雨災害 2. 令和元年台風19号	1. 倉敷市真備町 2. 長野市小布施町	1. 倉敷市真備町 倉敷市真備町有井地区において、地域団体からの支援要請があり、神輿イベントの手伝いと傾聴活動を行う。 2. 長野市小布施町 長野市・小布施町において、地元支援団体、学生NPO協働センター信州ベースとともに「防災セミナー」を2日にわたり開催し、傾聴やサロン活動について現地の高校生・大学生との意見交換会を行う。
7 神戸大学学生震災救援隊	2/22~2/23	10名	令和元年台風19号 東日本大震災	宮城県伊具郡丸森町 宮城県亶理郡山元町	丸森町では、復興住宅への転居により人が少なくなっている仮設住宅の清掃活動を行う。山元町では、現地の「東北まちろぼ」の協力のもと、復興住宅でサロン活動を行い、地域住民の方との交流を行う。また、山元町防災拠点の山下地域交流センターを訪問して、災害関係の展示物などを見学する。
8 未来へつなぐWACCA	2/24~2/26	6名	令和元年台風19号 東日本大震災	宮城県南三陸町、名取市、丸森町	宮城県丸森町中島・竹田地区では、地元のNPO団体をサポートして傾聴支援活動を行う。宮城県名取市関上地区では、3月に再開される震災周年行事の準備作業として、自治会集会所の物資整理、当日のメモリアル行事のイベント準備を行う。
合計		83名			



仮設住宅跡の清掃活動



福島沖地震で被害を受けた家屋の片づけ



猪名川町から出前フェスティバル